

下表の科目は、法学部・法学政治学研究科との合併科目で、法学部・法学政治学研究科が対面またはハイブリッド形式での実施を決めた科目です。

教室の使用形態・頻度等は授業によって異なります。( ) 付きの教室は必要に応じて使用する教室で、毎回使用するわけではありません。

受講にあたってはUTASシラバス・ITC-LMSに記載された情報や授業内での指示に従ってください。

Based on decision by Faculty of Law and Graduate School for Law and Politics, courses listed below will be conducted in In-person form or Hybrid form.

Number of classes in the classroom or how it will be used depends on each courses. Please follow the information on UTAS or ITC-LMS and instructions during class.

Classroom with ( ), may not be used everytime. Those classrooms will be use on an as-needed basis.

時間割コード Course Code	曜限 Schedule	科目名 Course Title	担当教員名 Lecturer	授業形式 Class Form			連絡事項 Announcement from lecturer	教室名 Classroom
				オンライン形式 Online	対面形式またはハイブリッド形式 In-person or Hybrid	初回のみ全員対面オリエンテーション In-person orientation for onky the first class		
5112090	月 1	国際行政論	城山英明	○	○		原則オンライン形式で授業を行うが、月に1回程度、教室で授業を行い、これをリアルタイムでオンラインで配信する（これに対面で参加するか、オンラインで参加するかは、学生の自由である）。	(法文1号館 26番教室)
5121436	月 2	国際商事仲裁	唐津恵一	○	○		履修者が少人数であり全員が対面授業に参加することが可能である場合にのみ対面授業を行う。したがって履修登録が確定するまではオンライン形式で行う。なお、模擬仲裁ワークショップを行う期日(11月15日)については、いずれにせよ、対面で行う。	(法学政治学系総合教育棟 305教室)
5140218	月 4	事例研究(政治とマスメディアII)	谷口将紀 佐藤武嗣		○		各回のゲストスピーカーの希望に応じ、対面形式又はオンライン形式で授業を行います。ハイブリッド形式の授業は行いません。	(法文1号館 27番教室)
5122140	火 4	国際政治経済の諸問題	飯田敬輔		○		できる限りハイブリッド形式で行いたいのが感染状況が悪化した場合には学期の途中でオンラインに切り替える可能性もある	法文1号館 27番教室
5121300	火 4	金融法	加藤貴仁	○	○		第1回(9月28日)、第4回(10月19日)、第13回(1月4日)については、教室で授業を行い、その内容をZoomを利用してリアルタイム配信することを予定している。その他の回(外部の講師が担当)については、現在調整中であるが、教室で授業を行う場合も同様にリアルタイム配信を行う予定である。	(法文1号館 22番教室)
5121433	火 5	証券市場法演習	大崎貞和・朱大明		○		対面形式を想定している。	法学政治学系総合教育棟 305
5111110	水 2	刑事政策	川出敏裕		○		対面形式で実施する予定であるが、参加者が多数に上る場合にはハイブリッド形式に変更する。	弥生総合研究棟 505研究会室
5122394	水 2	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー	平島健司	○	○	実施する	オンライン形式を原則とする。教材の報告を割り振るが、各回の担当者は必ず報告の当日までに前もってレジュメを提出すること。途中、理解を確かめるために対面の出席を求められることがありうる。対面の出席がそもそも困難な学生は開講時に申し出ること。	(法文1号館 演習室A1)
5121291	水 4	医事法発展演習	米村滋人		○		すべて対面授業とし、オンラインでの参加は不可とする。	法文1号館 22番教室
5140209	水 4	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)	飯田敬輔		○		Hope to conducted in hybrid form as much as possible. However there is a possibility of switching to online form during the semester, if the infection situation get worse.	法文1号館 19番教室
5121105	水 5	国際法の基礎理論	伊藤一頼		○		原則としてハイブリッド形式を予定している。報告担当者は対面で参加、それ以外は対面での参加は任意。対面での参加が困難な学生は、個別に相談すること。なお、感染拡大の状況によっては全面オンライン形式とせざるを得ない場合もある。	法文1号館 演習室A1
5140209	水 5	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)	飯田敬輔		○		Hope to conducted in hybrid form as much as possible. However there is a possibility of switching to online form during the semester, if the infection situation get worse.	法文1号館 19番教室
5122201-1	木 4	Contemporary Chinese Politics	林載桓		○		Conducted in hybrid form	法文1号館 21番教室
5122096	金 2	地域政治C(現代ドイツの政治)	平島健司		○		対面形式で講義を行い、一定の期間、その録画データをアップロードする。学生はいずれの形式で参加するのを選択する。	法文1号館 22番教室
5121022	金 4	Big Tech and competition law: how has competition law dealt with GAFA?	VANDE WALLE, Simon		○		To allow for a lively debate, the seminar will be held live in the classroom (not online or in hybrid form).	法学政治学系総合教育棟 305教室